

AORA 100

ポータブル電源

ユーザー マニュアル

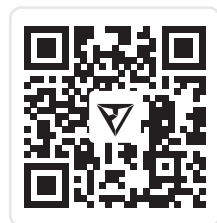
パッケージに損傷がないことを確認してから
ご使用ください。

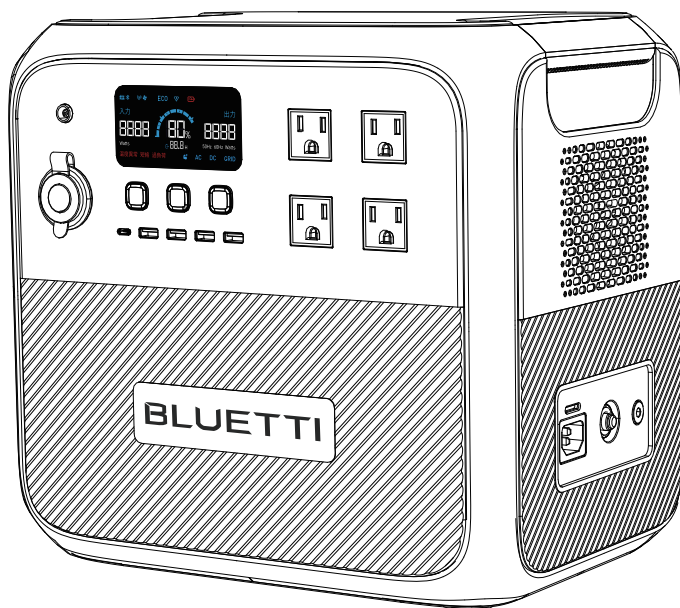
初めて使用する前に充電サイクルを実行してください。

BLUETTI アプリの QR コードをスキャンします。

<https://www.bluetti.jp/pages/warranty-registration>

で保証を登録してください





警告

1. 初回使用前に装置を充電する。
2. オープン電圧が 60 V を超える太陽電池パネルを使用しないでください。この装置の太陽光入力電圧範囲は DC 12 V ~ 60 V である。
3. SoC が 5% 以下に低下した場合、ユニットを充電する。SoC が 0 に低下した場合は、デバイスの電源を切り、再起動する前に 30 分以上充電してください。
4. 本装置はオフラインでのみ使用できます。AC 出力を電力網に接続しないでください。
5. 3 ヶ月以上使用していない場合は、デバイスを 40 ~ 60% の SoC に充電し、電源を切った状態で保存します。最適なバッテリー寿命を得るためには、3 ヶ月ごとにデバイスの放電と充電を行ってください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

BLUETTI 製品をご導入いただき、ありがとうございます。

BLUETTI は創業当初より、環境に優しいエネルギーソリューションを通じ持続可能な未来に忠実な取り組みを続けています。同時にポータブル電源や蓄電池などの製品を通して、生活に安心や楽しさを提供するべく常に先進的な製品開発を進めてきました。これらの取り組みが評価されて、BLUETTI は 100 以上の国と地域に拠点を置き、世界各地の数百万の顧客から信頼を得ています。



目次

1	安全性に関する説明	05
1.1	全般的な安全性	05
1.2	取り扱い	07
1.3	保管と使用方法	07
2	箱の内容品	08
3	製品の概要	10
3.1	図	10
3.2	仕様	11
4	操作方法	12
4.1	ボタン	12
4.2	LCD 画面	14
4.3	充電	15
4.4	放電	16
4.5	BLUETTI アプリ	17
5	付録	18
5.1	FAQ (よくある質問)	18
5.2	トラブルシューティング	19
5.3	略語一覧	19

※本マニュアルに記載した内容は、予告なく変更する場合があります。また、説明図やイメージ図は、実際と異なる場合があります。

1. 安全性に関する説明

本製品を安全にかつ適正にご利用いただくため、必ず本マニュアルをお読みください。本製品と付属品に記載されている警告と説明に従ってください。

このマニュアルの「説明」「注意」「警告」「危険」の表示をよくお読みになり、けがや破損のないよう、指示に従ってください。

ここに記載されている安全性に関する説明は本装置をご利用に際して、全般的に注意していただきたい内容を示したものです。この他にもマニュアルの各所に注意の必要な内容が記載されています。また、これらの記載内容の他にも本装置をご利用になる際には、周囲の状況等に応じて注意を払う必要があることを十分にご理解ください。実際の操作は、適用されるすべての安全基準に準拠する必要があります。

ご不明な点がございましたら、BLUETTI サポートまたはお近くの BLUETTI 販売店にお気軽にお問い合わせください。

1.1. 一般的な安全性

- 本製品を操作または保管するときは、必ず、このマニュアルで指定された条件に従ってください。
- 設置条件と周囲条件は、国際、国内、または地域の関連する規格の規制に準拠する必要があります。
- 本装置の分解、機器の改造、ソフトウェアの改変はいかなる場合も禁止されています。

以下の場合、BLUETTI は一切の責任を負わないものとします。

- 地震、火災、暴風雨、洪水、土砂崩れなどの不可抗力による機器の損傷。
- 輸送中の損傷または紛失。
- 温度が -20℃以下、または 40℃以上となる環境下での保管はおやめください。その他、このマニュアルで規定した要件を満たさない保管条件に起因する損傷。
- お客様の過失、不適切な操作、または意図的な損傷に起因する機器のハードウェアまたはデータの損傷。
- このマニュアルで規定した要件を満たさない取り扱いや設置を含め、第三者またはお客様に起因するシステムの損傷。
- 本製品は、原子力、航空、医療、精密機器など、電力供給の信頼性に大きく依存し、人身の安全に関係する機器や機械、また重要なインフラなどに電力を供給する用途には適していません。
- 本製品より機器や機械に電力を供給したことに起因するいかなる人身安全性事故、火災事故、機器の故障についても BLUETTI は責任を負わないものとします。
- 本装置に貼付されている識別マークの修正、改変、除去、またはそれに起因する損傷。

⚠ 危険を避けるために、以下の記載を順守し操作してください。

- 雷、雨、雪、強風などの悪天候下で本製品の設置、使用、保守をいずれも実施しないでください（本製品の取り扱いと操作、屋外設備へ接続する各種コードやケーブル等の抜き差し、高所での作業、屋外での設置を含みます。但し、これらに限定されず危険を伴う操作や処理をすべて禁じます）。
- 電気関係の作業を開始する前に、必ず各機器の電源を切ってください。

- 本製品を水洗いしないでください。
- 本製品の分解、改造、改変、修理をご自分で実施しないでください。
- 本製品と付属品に損傷や劣化がないか定期的に点検してください。
- 導体や端子に触れないでください。接続工事などを行う場合は、必ずテスターを使用して危険な電圧の有無を確認してください。
- 本製品の外筐体にひび割れが生じた場合、本製品をそのまま使用することを避け、BLUETTI サポートまたは最寄りの BLUETTI 販売店にご連絡ください。
- 本製品に引火、もしくは発火した場合、粉末消火器を使用してください。
- 火災が発生した場合、建物または影響を受ける場所から直ちに安全な場所へ避難し、すぐに火災報知装置を起動し、119 番（消防署）または最寄りの緊急電話番号に電話してください。
- ケーブルや付属品は BLUETTI 純正品をご使用ください。
- 本製品を熱源や高温から遠ざけ、直射日光にさらさないでください。
- 本製品の保管時は、可燃性の液体、気体、爆発物のいずれからでも遠ざけてください。
- 本製品を使用する場所は、風通しが良好で、周囲との間隔が開いていることを確認してください。
- 取り返しのつかない損傷を引き起こす可能性があるため、本製品の通気口を塞いだり覆ったりしないでください。
- 本製品は本来の目的のために使用し、保管中または使用中に、本製品の上に物を積み重ねないでください。
- 本装置を移動する場合は、必ず主電源ボタンをオフにしてください。また、移動に伴う振動や衝撃により、内部のハードウェアが損傷する可能性があるため、動作中に本製品を移動しないでください。
- 異常が発生し、このマニュアルで異常に関する適切な説明が見つからない場合、すぐに電源を切り、BLUETTI サポートまたは最寄りの BLUETTI 販売店にお問い合わせください。
- 本製品を不安定な面や傾いた面に置かないでください。
- 本製品のポートや通気孔に異物を入れないでください。
- ペットや子供の手が届かないようにしてください。
- 本製品を使用する前に、接地（アース端子）することを推奨します。

AORA 100 のアース端子にアースケーブル（推奨 14AWG (1.5mm²)/105°C/黄緑色）を接続します。アース用ネジ（M5*10）でケーブルを固定してください。

法的小および規制上の要件

- 輸送、配線、およびメンテナンスは、適用されるすべての法律、規制、および基準に準拠する必要があります。
- ユーザーが用意する必要な材料とツールは、適用される法律、規制、および関連する基準で指定された要件を満たすものとします。

1.2. 取り扱い

必要に応じて機械的補助器具を使用してください (台車や高さ調節可能な作業台など)。

製品の重量に基づく推奨人数

重量	人数
18kg 未満	1
18kg ～ 32kg	2
32kg ～ 55kg	3
55kg 超過	4 人または台車

1.3. 保管と使用方法

- 本製品を 3 か月以上使用しない場合は、SOC (バッテリー充電状態) の 60% 以上に充電し、主電源をオフし、保管環境条件の下で保管してください。
- 本製品を保管する前に、電源を切り、すべての電気接続を取り外してください。
- 涼しく乾燥した場所に本製品を保管してください。理想的な温度範囲は 10℃ ～ 30℃ です。本製品は -20℃ ～ 40℃ の温度範囲で充電と放電を安全に実行できます。本製品を車中や簡易物置などの過酷な温度環境で長期間保管するとバッテリーの劣化や故障の原因になります。
- バッテリーの状態を維持するために、6 か月ごとに本製品を起動し、一旦放電した後、100% まで充電してください。

⚠ (動作中または起動時に) SOC が 0 になった場合、本製品を安全に再起動するには、次の操作を行ってください。

- 1) すぐに主電源ボタンを長押ししてシャットダウンします。
- 2) 48 時間以内に充電を行ってください。
- 3) 本装置の充電を開始するにあたって、周囲温度を 5℃ ～ 35℃ に 1 日以上保つ必要があります。

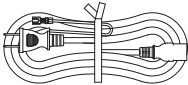
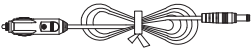
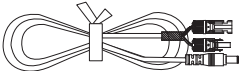
なお、SOC が 0 からの充電は AC 充電することをお勧めします。

ソーラー充電する場合、ソーラー システムの出力が 100W 以上 (LCD 画面に表示される充電電力は、ソーラーパネルの発電量ではありません) が必要です。

上記の指示に従わなかったために機器の損傷が生じた場合、BLUETTI は一切の責任を負わないものとします。

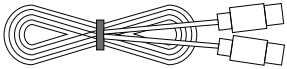
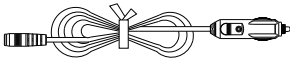
2. 箱の内容品

標準パッケージ

アイテム	画像	数量
ポータブル電源 (本体)		1
AC 充電ケーブル		1
自動車のシガーソケットからの充電ケーブル		1
ソーラーからの充電ケーブル		1
ユーザー マニュアル		1
保証書		1
品質証明書		1

オプション

(BLUETTI ウェブサイトで入手可能)

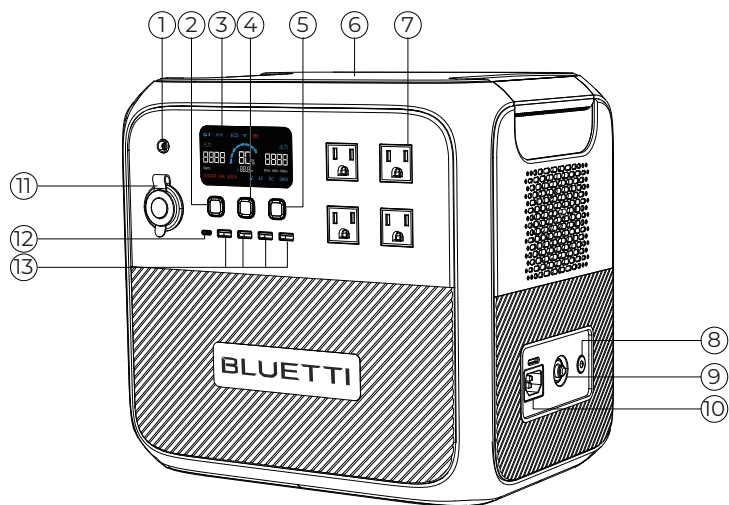
アイテム	画像
TYPE-C ケーブル (5A/100W、2m)	
シガーソケットから 5521 への接続ケーブル (ルーター、カメラなど、5521 ポートを 搭載した 12V デバイスの場合)	
シガーソケット (12VDC) 出力からクランプへ の接続ケーブル (シガーソケット経由で鉛蓄電池を充電)	
鉛蓄電池の充電ケーブル (DC7909)	

オプション品の日本国内における販売時期は未定です。BLUETTI 公式販売サイト等でご確認ください。

3. 製品の概要

3.1 図

BLUETTI AORA 100 は、1800W の純正弦波インバータと1152Whのリン酸鉄リチウム (LiFePO_4) バッテリーを搭載したポータブル電源であり、アウトドアや車中泊での利用や災害時の非常用電源としての活用に最適です。4 個の AC 出力コンセントと5 個の USB ポート (4 個の USB-A と1 個の USB-C) に加えて、車載機器向けの 12V/10A シガーライター出力ソケットと、携帯電話 / スマートフォン、ヘッドフォン、Bluetooth スピーカーなど互換性のある各種電子機器向けのワイヤレス充電パッドを搭載しています。充電に関しては、AORA 100 は最大 1440W の AC 入力と 500W の DC 入力を受け入れることが可能であり、数時間で最大充電できます。また、BLUETTI アプリによる制御にも対応しています。Bluetooth 接続すると、この機器の内部動作をすべて監視し、好みに合わせて電力使用方法を最適化することができます。



- | | |
|--------------|--------------------------|
| ① DC 入力 | ⑧ アース用端子、(アース用ネジ: M5*10) |
| ② DC 出力ボタン | ⑨ AC 入力ヒューズ |
| ③ LCD 画面 | ⑩ AC 入力 |
| ④ 主電源ボタン | ⑪ シガーライター出力ソケット |
| ⑤ AC 出力ボタン | ⑫ USB-C ポート |
| ⑥ ワイヤレス充電パッド | ⑬ USB-A ポート |
| ⑦ AC 出力コンセント | |

3.2 仕様

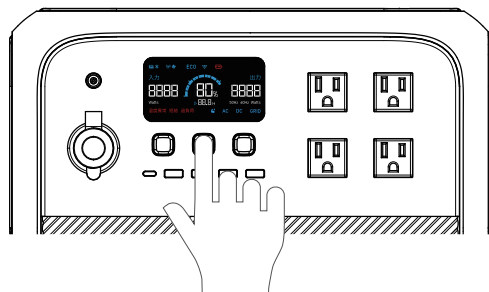
日本国内仕様は、下記表の「JP」の列となります。

モデル	AORA 100
エリア	JP
バッテリー容量	1152Wh
セルの種類	LiFePO ₄
重量	約 16.4kg
サイズ (奥行 * 幅 * 高さ)	340mmx247mmx317mm
充電温度	0℃ ～ 40℃
放電温度	-20℃ ～ 40℃ (最大 1500W の場合、 30℃ ～ 40℃)
保管温度	-20℃ ～ 40℃
稼働湿度	10% ～ 90%
AC 出力	
電力	合計 1800W
電圧	100VAC
電流	18A
周波数	50/60Hz
DC 出力	
シガーライター出力ソケット	12VDC/10A
USB-A	USB-A1: 5VDC/3A、合計 15W USB-A2: 5VDC/3A、合計 15W
USB-C (Type-C)	5/9/12/15/20VDC の場合は 3A、20VDC の場合は 5A (eMark チップ搭載)
ワイヤレス充電	5W/7.5W/10W/15W
AC 入力	
電圧	100VAC
最大電流	15A
周波数	50/60Hz
UPS	切り替え時間 20ms 以下 データサーバや精密機器の UPS として使用する場合、 データ損失などのリスクを避けるため、使用前に機能をテストしてください。
電力	10℃ ～ 30℃ 時に最大 1440W
DC 入力	
インターフェイス	DC7909
電力	最大 500W/10A
電圧	12V ～ 60VDC

4. 操作方法

4.1 ボタン

BLUETTI AORA 100 には、主電源ボタン、AC 出力ボタン、DC 出力ボタンがあります。



4.1.1. 電源オン / オフ

- AORA 100 をオンするときは、主電源ボタンを押します。オンすると主電源ボタンが緑色に点灯します。このとき LCD 画面も表示されます。オンのときに主電源を軽く押すと LCD 画面の表示と消灯を切り替えることができます。なお、LCD 画面はバッテリーの消費を抑えるために1分ほどで自動的に消灯します。
- AORA 100 をオフするときは、主電源ボタンを 2 秒以上長押しすると、主電源ボタンの点灯が消えてオフになります。
- DC 出力 (自動車のシガーソケット (12VDC) 出力、USB、ワイヤレス充電) のオン / オフを切り替えるには、DC 出力ボタンを押します。
- AC 出力のオン / オフを切り替えるには、AC 出力ボタンを押します。

4.1.2. 設定

- **設定モード** : LCD 画面が表示されている状態で AC 出力がオフのときに、AC 出力ボタンと DC 出力ボタンを約 2 秒長押しすると、設定モードに入ります。
- **AC 出力周波数切り替え** : 現在の出力周波数 (50Hz/60Hz) が画面の右下隅に表示されます。設定モードで AC 出力ボタンを押すと、AC 出力周波数が切り替わります。
- **電力リフト (電力引き上げ) モード** : 電力リフト (電力引き上げ) モードはデフォルトで無効になっています。このモードを有効にするには、設定モードで AC 出力ボタンを約 2 秒長押しするか、BLUETTI アプリからこのモードを直接有効にしてください。このモードが有効になっている場合、マークが画面に表示されます 。このモードでは、AORA 100 は出力電力定格が 1800W にとどまっていますが、ハイドレイン (消費電力の多い) の純抵抗負荷 * (2700W 以下) を動作させることもできます。

注 : 電源コンセントまたは発電機のような AC 電力源を使用して AORA 100 を充電する場合、電力リフト (電力引き上げ) モードは使用できません。AC 電源はインバータをバイパスし、接続先の AC 負荷に直接電力を供給します。

* ヒーター、アイロン、または発熱素子のみで構成されるその他のデバイスが該当します。

- **弱グリッド適応 モード**：AC 電圧変動のある発電機などからの充電に適応するための機能です。デフォルトでは、弱グリッド適応 モードは無効になっています。本体からの設定はできません。BLUETTI アプリを使ってモードの有効 / 無効を切替えます。このモードでは、AORA 100 が AC 電源の電圧変動と波形歪みに適応できるようになるため、AORA 100 は安定的で継続的な AC 入力を確保することができます。

注：AORA 100 を UPS として使用する場合、弱グリッド適応 モードを無効にしてください。このモードでは、UPS の切り替えに余分の時間がかかり、接続先のデバイスに即時の非常用電力を供給できないことがあります。

- **ECO モード**：ECO モードで動作している場合、AORA 100 が低負荷または無負荷の状態がしばらく続くと、AC/DC 出力が自動的にオフになります。

このモードが有効になっている場合、ECO モードマークが画面に表示されます。設定モードで DC 出力ボタンを押すと、オン / オフが切り替わります。

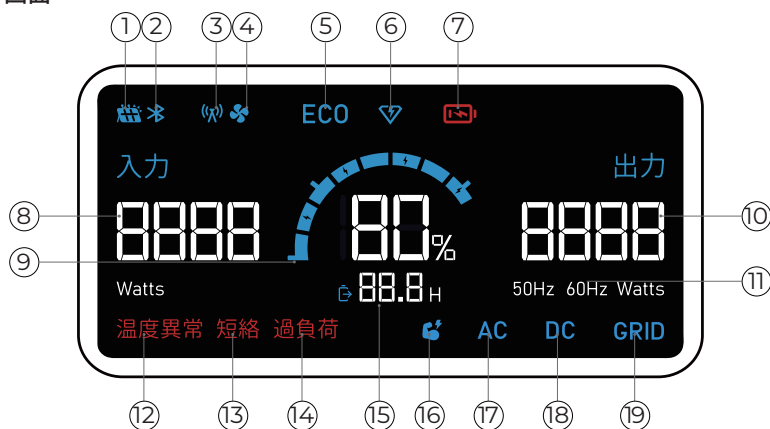
出力	電力	持続時間
AC 出力	15W ～ 30W	1、2、3、4 時間のいずれか
DC 出力	5W ～ 10W	1、2、3、4 時間のいずれか

- 設定モードを終了するには、AC 出力ボタンと DC 出力ボタンを同時に押します。

注：1 分間何も操作しないと、AORA 100 は自動的に設定モードを終了し、変更結果は保存されません。

- **エラーコードの確認**：AC 出力ボタンと DC 出力ボタンを同時に約 2 秒長押しすると、設定モードに入ります。設定モード時に DC 出力ボタンを長押しすると、現在のエラーコードを確認できます。(例：E001)

4.2. LCD 画面



- | | | |
|-------------|--|----------------------|
| ① DC 入力 | ⑧ 充電電力
ソーラーやACアダプターからの入力電力ではなく充電される電力の表示です) | ⑬ 短絡アラート |
| ② Bluetooth | ⑨ バッテリー容量 | ⑭ 過負荷アラート |
| ③ ワイヤレス充電 | ⑩ 出力電力 | ⑮ 残り時間インジケータ |
| ④ ファン | ⑪ AC 周波数 | ⑯ 電力リフト (電力引き上げ) モード |
| ⑤ ECO モード | ⑫ 温度異常アラート | ⑰ AC 出力 |
| ⑥ 高速充電 | | ⑱ DC 出力 |
| ⑦ 低電圧アラート | | ⑲ AC 入力に接続済み |

液晶に関する説明

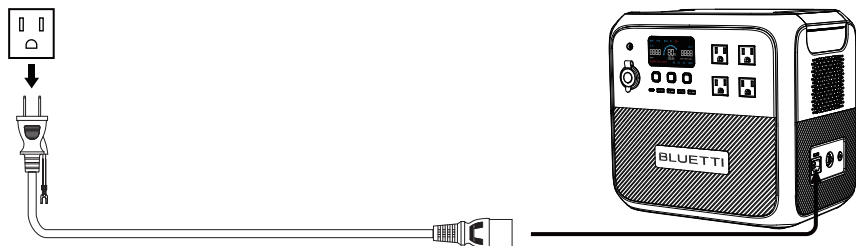
起動	液晶が点灯
シャットダウン	液晶が消灯
過負荷	OVERLOAD が点滅
短絡	SHORT が点滅
充電	 が点灯
高速充電	 が点灯
ECO モード有効	ECO が点灯
バッテリー残量が少ない	 が点灯
異常温度	TEMP が点滅
AC 入力	GRID が点灯
DC 入力	 が点灯
Bluetooth 接続済み	 が点灯
AC 出力が有効	AC が点灯
DC 出力が有効	DC が点灯
電力リフト (電力引き上げ) モードが有効	 が点灯

4.3 充電

AORA 100 は、AC 電源、ソーラー、自動車 (シガーソケット)、発電機の 4 種類の電力供給源からの充電方法に対応しています。

4.3.1. AC 充電 (AC100V コンセントから充電)

AORA 100 を標準的な電源コンセントに差し込むだけで、充電を開始できます。



AORA 100 は、高速モード / 標準モード / 静音モードの各充電モードをサポートしています。デフォルトでは 標準モード 充電に設定されていますが、BLUETTI アプリで 高速モード と 静音モード の各モードを有効にすることもできます。AC 充電モードに関する BLUETTI の指針は以下の通りです。

1) 短時間で AORA 100 を充電する必要がある場合は、高速モード 充電が便利です。

2) 標準モード 充電は AORA 100 のバッテリーの負担がより小さくなります。

静音モード 充電を使用すると、静音で低消費電力の動作を実現し、バッテリー寿命を延ばすことができます。

注: 高速モードの場合、大きな電力 (10A 以上) が流れます。ブレーカー容量に十分な余裕が必要です。また、たこ足配線などは危険です。

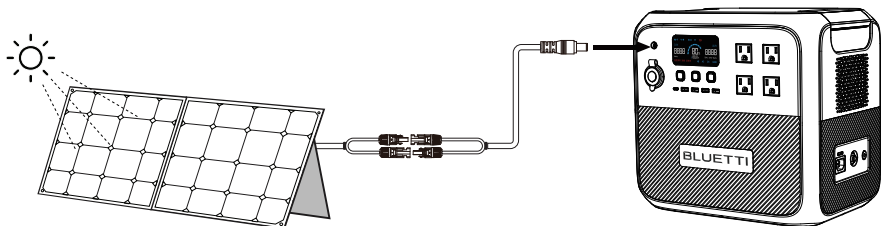
充電時には常にバッテリーの状態をセンサーが監視し、安全かつバッテリーのダメージが少なくなるように高度な制御が行われます。そのため、本装置をしばらく利用していなかった場合や満充電付近などでは、バッテリーのコンディションを整えながら充電電力を抑えて充電します。

4.3.2. ソーラーからの充電

ソーラー充電ケーブルを使用し、複数のソーラー パネル (直列または並列) を AORA 100 に接続します。

注: 使用するソーラー パネルが以下に準拠していることを確認してください。

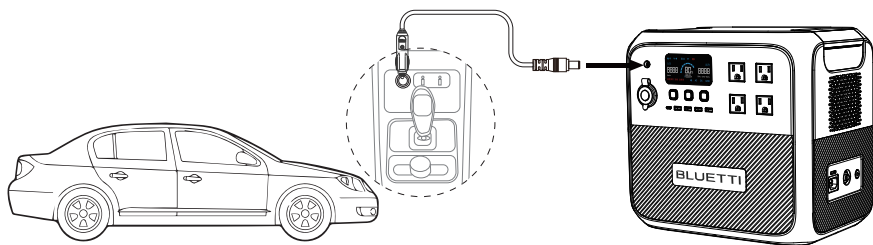
Voc: 12V ~ 60VDC 入力電流: 最大 10A 入力電力: 最大 500W



警告: ソーラー パネルの開回路電圧は 最大 60V 以下にしてください。60V を超える場合、本装置の故障の原因になります。(注: これによる故障は保証の対象外です。)

4.3.3. 自動車のシガーソケットからの充電

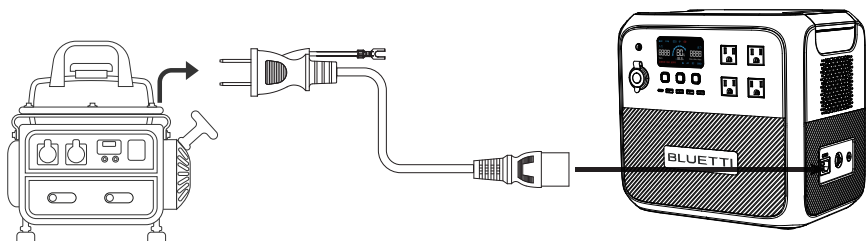
自動車の充電ケーブルを使用し、AORA 100 を自動車の 12V/24V シガーソケットに接続します。



警告：シガーソケットには、差し込みプラグを奥までしっかり差し込む必要があります。そうしない場合、安全上のリスクを引き起こす可能性があります。

4.3.4. 発電機からの充電

AC 充電ケーブルを使用し、AORA 100 を発電機の AC 出力口に接続します。



4.4 放電（AC 出力、DC 出力）

AORA 100 の稼働時間は、周囲温度、放電率、バッテリー容量、標高、負荷特性など、多くの要因の影響を受けます。

4.4.1. AC 出力

AORA 100 には 4 個の AC 出力コンセント（EU バージョンでは 2 個のポート）があり、合計で最大 1800W の AC 電力を供給します。また、2700W のサージにも対処できます。

4.4.2. DC 出力

- 12V/10A シガーライター出力ソケット
- USB-C (PD 100W)
- USB-A (合計 30W、最大 15W)
- ワイヤレス充電パッド (最大 15W)

4.4.3. 稼働時間の目安

接続先の電力負荷に応じて、AORA 100 の動作時間に関する 2 種類の計算方法があります。

- AORA 100 を 600W のコーヒーマーカーなどの大電力負荷に接続する場合。

稼働時間 (目安) = バッテリー容量 (Wh) × DoD × η ÷ (負荷電力)

- 40W 冷蔵庫のような小電力負荷に接続する場合。

稼働時間 (目安) = バッテリー容量 (Wh) × DoD × η ÷ (負荷電力 + AORA 100 の自己消費電力)

注:

- 1) AORA 100 の自己消費電力は約 15W です。
- 2) 負荷電力と稼働時間は、それぞれワット単位、時間単位で測定します。
- 3) DoD は、放電深度 (depth of discharge) を意味します。バッテリー寿命を延ばすために、AORA 100 は 90% DoD で動作します。 η (イータ) はインバータの変換効率であり、AORA 100 の場合 85% を上回ります。

例: 40W の冷蔵庫を動作させる場合、次のように約 17 時間稼働させることがで

稼働時間 = $1152\text{Wh} \times 90\% \times 85\% \div (40\text{W} + 15\text{W}) \div 17$ 時間。

注: 低温環境、高温環境では、バッテリー容量に大きな影響を及ぼし、通常の稼働時間が大幅に短くなる可能性があります。

4.5 BLUETTI アプリ

以下の QR コードを読み取るか、App Store または Google Play で「BLUETTI」を検索して BLUETTI アプリをダウンロードしてください。



詳細については、BLUETTI アプリの説明を参照してください。

5. 付録

5.1 FAQ (よくある質問)

Q1: 手持ちの機器と本製品を組み合わせて正しく動作するかどうか確認するには、どうすればよいでしょうか？

A: お手持ちの機器の定格消費電力の合計を計算してください。その合計値が本装置の最大出力電力 (1800W) を上回らない場合、本装置を使用してお手持ちの機器を動作させることができます。定格消費電力の合計が制限を上回っていても、AC 出力の負荷が 1800W 未満の場合には、DC 出力のみがオフになります。

注：電子レンジなどの電磁調理器の W 表示は、過熱能力を表す数値であり、消費電力ではありません。一般的な電子レンジの消費電力は 1200W 以上になります。

注：モーター / コンプレッサを内蔵している一部の機器は、定格電力の 2 ～ 4 倍で起動電力を要する場合があります、過負荷になる可能性があります。

Q2: 本製品を充電するために、サードパーティ製のソーラー パネルを使用できますか？

A: はい、できます。ソーラー パネルの開回路電圧が 12V ～ 60V で、MC4 コネクタを搭載していることを確認してください。異なる種類のソーラー パネルを混在させないでください。

注：1 回のフル充電に必要な時間は、気象条件、日照強度、ソーラー パネルの角度によって異なります。

Q3: 本製品の充電と放電を同時に行うことはできますか？

A: はい。この製品は、パルス充電に対応しています。AORA 100 は、LiFePO₄ のプレミアム バッテリーと独自のバッテリー管理システムを搭載しており、充電と放電を同時に行うことができます。

Q4: ECO モードとは何ですか？ オフにできますか？

A: ECO モードは節電に役立ち、画面で ON/OFF を切り替えることができます。ECO モードで動作している場合、AORA 100 が低負荷または無負荷の状態がしばらく続くと、AC/DC 出力が自動的にオフになります。1、2、3、4 時間いずれかの長さにわたり、AC 出力の電力しきい値を 15 ～ 30W、DC 出力の電力しきい値を 5 ～ 10W に設定できます。

Q5: しばらく充電していなかったり、満充電付近などで、充電電力が小さくなるのはなぜですか？

A: AORA 100 は、バッテリーの温度と SOC (充電状態) に応じて充電電力を自動的に調整するインテリジェントな BMS を搭載しているためです。これにより、バッテリーを保護し、寿命を延ばすことができます。

Q6: 弱グリッド適応 モードはどのような状況で使用しますか？

A: このモードは、信頼性の低いグリッドや発電機などの不安定な AC 電源を使用して AORA 100 を充電する場合に便利です。たとえば、AORA 100 を通常モードで充電中に発電機の出力を変更すると、電圧降下により充電エラーを生じますが、弱グリッド適応モードにより充電を続けられる可能性があります。

- Q7:** たとえば、AORA 100 を通常モードで充電中に発電機の出力を変更すると、電圧降下により充電
エ AORA 100 充電時のノイズを小さくすることはできますか？
- A:** はい。BLUETTI アプリで AC 充電に対して [Silent] (静音) を選択してください。詳細については、
「4.3.1 AC 充電」を参照してください。

5.2 トラブルシューティング

エラー コード	エラーの説明	トラブルシューティング
E001	インバータの過負荷	接続先デバイスの電力が大きすぎるかどうか確認してください。
E003	インバータの短絡	接続されているデバイスが破損していないかどうかを確認します。
E065	シガーソケット (12VDC) 出力の短絡	接続先デバイスの電力が大きすぎるかどうか確認してください。
E068	シガーソケット (12VDC) 出力の過熱	数分待ってから、もう一度お試しください。
E085	充電温度が高すぎます	バッテリーの温度が下がるまで待った後、充電してください。
E086	充電温度が低すぎます	推奨充電温度: 0°C ~ 40°C。
E087	放電温度が高すぎます	バッテリーの温度が下がるまで待った後、放電してください。
E088	放電温度が低すぎます	推奨放電温度: -20°C ~ 40°C。
E033	PV 入力 of 過電圧	PV からの入力電圧が 12 ~ 60VDC の範囲内であるかどうか確認します。
その他		BLUETTI テクニカル サポートにお問い合わせください。

5.3 略語一覧

- MPPT：最大電力点追従 (Maximum Power Point Tracking)
- SoC：充電状態 (State of Charge)
- UPS：無停電電源装置 (Uninterruptible Power Supply)
- AC：交流 (Alternating Current)
- DC：直流 (Direct Current)
- PV：太陽光発電 (ソーラー パネル) (Photovoltaic (Solar Panels))
- DoD：放電深度 (Depth of Discharge)



公式サイト :<https://www.bluetti.jp/>

直販店 :〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 14 番地

BLUETTI ストア秋葉原店

カスタマーサービス

電話番号 : **042-705-9357** (月曜日 - 金曜日 9:30-17:00)

E メール : sale-jp@bluettipower.com

メンテナンス :〒271-0092 千葉県松戸市松戸 2303-14

証 書

製造日: _____

QC: _____

Just Power On

P/N: 17.0303.0831-00A0